

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

2024 年を振り返り 2025 年度に向けて

会長 並木 道義

2024 年度は、元旦の能登半島での大規模な地震、9 月の大雨被害、そして、最近では乾燥による影響で岩手県大船渡市をはじめ日本各地で山林火災が発生し、大きな被害をもたらしました。このような自然災害により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

また、この災害などにより学びの環境が大きく変化した子どもたちも数多く存在する状況が生まれています。私たち、「子ども・宇宙・未来の会」は、子どもたちの未来を明るくするために、様々な活動を行っており、自然災害により学ぶ環境が変わった子どもたちや家族への支援も考えていく必要があると感じた 1 年でした。

私たちの主要事業である「宇宙の学校®」は、コロナ禍を経て、開催会場が減少しましたが、現在 33 か所で開催するまでに回復してきました。2024 年度これまで休止していた関町北小学校「宇宙の学校®」（東京都練馬区）が再開しました。なるべく早くコロナ禍前の 50 校以上の開催を目指しています。

2025 年度は、新規に札幌市(北海道)や四日市市(三重県)での開校を目指し地域主催者と調整を行っています。

宇宙の学校®の開催サポートとして、JAXA 宇宙教育センターとともに「宇宙の学校®宇宙教育指導者セミナー」を各地で開催しています。ぜひ会員の皆さまもお近くで開催の際はご参加下さい。



葉脈標本でしおりをつくらうプロフラム
教材をじっくり観察

17 年目の春を迎える KU-MA は、ここ数年のコロナ等の感染症の影響や会員の高齢化などで、いろいろな課題が見えてきています。一つは、2 年連続の赤字決算（見込）です。その解決には、新規事業による収益を増やすことが求められています。また、助成金や補助金の活用、企業との連携等で、様々な環境下にある前記の子どもたちへの事業も展開したいと思います。新規入会を募るため広報活動にも力を入れてまいります。引き続き、子ども・宇宙・未来の会の事業活動へのご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

当会は認定 NPO 法人を取得しておりますので、寄付や賛助会費は寄付金控除の対象となります。ぜひ、お知り合いの方にも当会の活動をご紹介しますようお願いいたします。



関町北小学校「宇宙の学校®」開催模様

2023 年度から AWS (Amazon Web Service) in Communities および日本 NPO センターのお力添えにより、児童養護施設や不登校支援施設、フリースクールの子どもたち向けの活動「絆プロジェクト」が 2025 年度に 3 年目を迎えます。

本活動では、宇宙の学校と同様に複数回の実験工作のワークショップ、発表会(交流)などのプログラムを実施しています。これまでの活動で子どもたちが回を重ねるごとに、意欲的に参加し、目を輝かせ活動している姿を実感しており、継続的な宇宙教育の機会提供とともに拡げて行くべき事業と確信しています。市外の他の地域にも拡げてまいります。

活動報告

自主事業

2/7 AWS In Communities 助成「絆プロジェクト」
活動報告会(アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社本社)

宇宙の学校®事業

宇宙の学校®宇宙教育指導者セミナー開催
2/2 石川県かほく市
2/16 愛知県小牧市
2/22 岡山県備前市
3/16 宇宙の学校®2024 年度 全スクーリング終了

イベント・CSR 事業

1/18 山口県教育委員会 宇宙の教室(リモート)
(山口県山口市)
1/25 国分寺おとなの宇宙の学校①(東京都国分寺市)
1/26 相模原 SDG s EXPO(神奈川県相模原市)
2/8 国分寺おとなの宇宙の学校②(施設見学)
2/18 杉並区立八成小学校特別授業(東京都杉並区)
3/1 相模原市中央区子どもカレッジ ワークショップ
3/1 国分寺おとなの宇宙の学校③(東京都国分寺市)
3/13 公立小学校 教員研修(東京都福生市)



AWS In Communities 助成「絆プロジェクト」報告会



国分寺市おとなの宇宙の学校 第三回開催模様
講演：『プラネタリーディフェンスとはやぶさ 2 拡張ミッション』

活動予定

イベント・CSR 事業

・4/5.6 相模原市民桜まつり出展
<https://sagamihara-shimin-maturi.com/>

JAXA や YAC 相模原分団さんと今年も同じテナントで、グッズ販売もしています。会場でお待ちしています！

その他

- ・5 月 令和 7 年度第 1 回理事会
- ・6 月 令和 7 年度通常総会

編集後記

◇AWS の報告会に参加しました。他団体の取り組みを直に聞けるのは良いですね。(た)
◇先日、委託会場の倉庫の片付けに行きました。初期の頃に手作りで準備していた材料の残りや教材制作中の残り、古い写真なども出てきました。種子のモデルが材料と一緒にあったので、つい飛ばしてみました。今もきれいに滑空しました。当時に引込まれ懐かしさと感謝の気持ちでいっぱいになり、片付けがあまり進みませんでした。(い)

会員随時募集中!お知り合いの方にぜひご紹介ください

◇正会員：KU-MA のミッションに賛同し、活動を推進する個人/法人・団体
年会費 個人：10,000 円(学生 5,000 円)、法人・団体：50,000 円
◇賛助会員：KU-MA のミッションに賛同し、寄付いただける個人と法人・団体
年会費 個人：10 1,000 円、法人・団体：10 50,000 円
※個人賛助会員への会員証の発行、メールマガジンの送付は 5 口以上からです。

事務局よりお知らせ

・神奈川県では、ふるさと納税を活用した NPO 指定寄附～NPO 応援寄附～の新制度が始まります。ふるさと納税として寄附をすると返礼品を受け取りその寄附先として指定した NPO に寄附することができるようになります。当会も寄附先の NPO 法人として登録しました。ふるさと納税で寄付をされる際は、神奈川県もご検討ください。
*制度上、神奈川県在住の方に返礼品はありません。

会員情報

正会員 165(個人:148 学生:5 企業・団体:12)
賛助会員 49(個人:39 企業・団体:10)
みなさまの会費や寄付金が運営費の一部となり、KU-MA 活動を展開させていただいております。
日頃のご支援に心より感謝を申し上げますとともに、引き続き、活動および活動資金へのご協力をお願いいたします。
当会への寄付(賛助会費含む)は、寄付金控除の対象となります。詳しくはホームページでご確認ください。

会費や寄付のお振込先

【会費や寄付金のお振込先は下記の口座へ】
横浜銀行 浏野辺支店 普通預金 1768456
特定非営利活動法人子ども・宇宙・未来の会
会長 並木 道義(ナミキミチヨシ)
クレジット決済もできるようになりました。
ホームページよりお申込みいただけます。

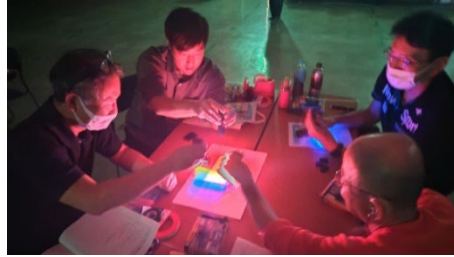
「子どもの宇宙」を広げ 未来を豊かに
KU-MA は JAXA 宇宙教育センターと宇宙教育活動に関する協定書に基づき、連携・協力しながら宇宙教育活動を推進しています
「宇宙の学校®」は、KU-MA の登録商標です

認定NPO法人 子ども・宇宙・未来の会「宇宙の学校」事務局
〒252-5210神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1 JAXA内
電話・FAX：042-750-2690
E-mail：KU-MAs@ku-ma.or.jp
ホームページ：https://www.ku-ma.or.jp





講義「宇宙教育と宇宙の学校」



教材演習：海の水はなぜ青い？



教材演習：スライドガラスで万華鏡

宇宙の学校®の活動サポート

宇宙の学校®宇宙教育指導者セミナー活動報告

JAXA 宇宙教育センターと協同事業で行っている「宇宙の学校®」の活動支援として、宇宙の学校®宇宙教育指導者セミナーを宇宙教育センターと地域主催者と共に年間に全国数か所で開催しています。

活動内容は講義1「宇宙教育と宇宙の学校®について」講義2「活動上の安全について」と宇宙教育プログラムの教材演習です。

宇宙の学校®ってどんな活動なのだろう？宇宙教育の理念の確認、安全に活動を行うには、など講義と教材演習を行い、危険個所の確認、活動でどのように展開するかなど、地域の方々と楽しく学ぶことができます。ぜひ、お近くで開催の際はご参加ください。募集はKU-MA Web ページで！



ミニ講演「宇宙新時代の幕開け」



教材演習：大気圧を感じてみよう！

これからの宇宙探査計画

- 2024 年** ESA が主導する地球近傍の二重小惑星探査計画「Hera」は、NASA の DART 計画と連携し、史上初の本格的な宇宙防災「プラネタリーディフェンス」の技術実証を行います。また、惑星の形成・進化過程の理解を深めることも目的の一つです。日本からは、熱赤外カメラの提供や科学研究に参加しています。
- 2026 年** ・火星衛星探査計画（MMX）は、2026 年度に探査機の打ち上げを予定しており、2027 年に火星周回軌道へ到達する計画です。本計画では以下の目標が掲げられています。
- 火星衛星の起源を明らかにし、太陽系の惑星形成の謎を解明する。
 - 火星圏（火星、フォボス、ダイモス）の進化の過程を明らかにする。
 - 火星圏への往還技術の獲得。
 - 天体表面上での高度なサンプリング技術の開発。
 - 新探査地上局を活用した最適な通信技術の確立。
- ・2018 年 10 月欧州宇宙機関（ESA）のアリアン 5 型ロケットにより、ギアナ宇宙センターから打ち上げられた国際水星探査計画「ベピコロンボ」に、日本の水星磁気圏探査機「みお」（MMO）と、ESA 担当の水星表面探査機（MP0）が搭載されました。当初の予定よりも 1 年遅れ、2026 年 11 月に水星へ到着する見込みです。これは航行に必要なイオンエンジンに不具合が生じたためです。
- 2031 年** 2023 年 4 月にギアナ宇宙センターより、アリアン 5 型ロケットにて打ち上げられた木星氷衛星探査計画ガニメデ周回衛星「JUICE」は、2031 年木星系に到達し、木星の氷衛星「ガニメデ」には 2034 年に到着予定です。

このように、今後もさまざまな宇宙探査計画が進行しており、新たな発見や技術開発が期待されます。

2025 年 1 月 26 日(日) 相模原 SDGsEXPO に出展

2025 年 1 月 26 日(日)相模原 SDGsEXPO スポイトロケット教室

相模原市 SDGs 推進課から声をかけていただき、第 3 回相模原 SDGsEXPO に出展してスポイトロケット教室を行いました。会場が屋外でしたので、広い場所で空高くスポイトロケットを打ち上げようと考えていたのですが、風が強くて打ち上げたらスポイトが横に飛んでいってしまうため、急遽テントの中での実験工作になりました。講師は並木会長、ボランティアで会員の大橋さんがお手伝いに来てくれました。打ち上げるとすぐテントの屋根にぶつかってしまうので、つまらないかなと心配になりましたが、勢いよく打ちあがるスポイトロケットの姿に子どもも大人も大興奮で、参加した皆さんに楽しんでもらえたようです。1 日 4 回の教室を実施して KU-MA の宣伝や物販も行って大忙しでしたが、大橋さんが来てくれたのもあって無事に終了しました。この度、本イベント参加のタイミングで「さがみはら SDGs パートナー」に登録いたしました。今後、相模原市 SDGs 推進課や市内のパートナー団体と協力して連携事業を行ってきたいと思います。



2025 年 3 月 1 日(日) 宇宙に飛び出せ！相模原市中央区こどもカレッジ に出展！

2025 年 3 月 1 日(日)宇宙に飛び出せ！中央区こどもカレッジ バルーンロケット(かさ袋ロケット)体験イベント

相模原市中央区主催の「宇宙に飛び出せ！中央区こどもカレッジ」に出展して、バルーンロケット(かさ袋ロケット)体験を行いました。講師は会員の大川拓也さん、ボランティアスタッフとして会員の大橋さん、赤松さんが参加してくれました。「ロケットが宇宙まで飛ぶのはなんてだろう？」「ロケットが飛ぶ仕組み」のお話を聞きながら家族でバルーンロケットを作って何回も飛ばして、秘密を探りました。日本最初のロケット「ペンシルロケット」のノーズコーン、胴体、尾翼と 3 つに分解した写真を見てもらい、頭が重くなってお尻に尾翼がついていることをお話し、重りや尾翼をバルーンロケットにどのように付けたらまっすぐ飛ぶか、家族で相談しながら作ってもらいました。飛ばして、改良して・・・を繰り返しながら、はじめは飛ばなくてもだんだんまっすぐ飛ぶようになっていくロケットに、みなさん驚いていました。ロケットの仕組みの話を聞きながら、家族で実験しながらその秘密を見つけ出せたのも楽しかったようです。最後に、大川先生から太陽系のお話や、今年起こる皆既月食のお話をいただきました。質疑応答ではよく話を聞いていないとできない質問をしてくれていて、とっても嬉しかったです。講師の大川先生、お手伝いしてくださった大橋さん、赤松さん、ありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

